

Third Grade Reading Guarantee (3年生 のリーディング力の保証)

進級できなかった3年生の年次途中での進級

2017年8月

オハイオ州が実施する「3年生のリーディング力の保証」は、リーディング力の発達が遅れている幼稚園から3学年までの生徒を特定するプログラムです。3年生の終了時までには生徒がリーディング力を十分身に付けるように、学校が支援します。研究によると、3年生になるまでに上手く読むことができない生徒は、他の生徒よりも卒業が遅れる確率が4倍も高くなっています。

一般指導

④ 該当の地区および学校は、進級できなかった生徒が各学年に応じたレベル以上のリーディング力を示した場合に、年次途中での進級を認める方針を確立するように求められています。進級できなかった生徒とは、その前年にも3年生に在籍しており、この方針に従って4年生に進級することができなかった生徒を指します。なお、特定の科目で次第点の成績を収めていたかどうかは問いません。

よくあるご質問

年次途中での進級方針の目的とは？

年次途中での進級方針の目的は、3年生に残留することになった生徒が、学年のレベルに応じたリーディング力を身に付け、4年生に進級できるようにサポートすることにあります。この方針により、生徒は該当地区により提供される高品質かつエビデンスベースのサービスを受け、各学年に求められる以上のリーディング力を習得すると同時に4年生に進級できるようになります。

地区の年次途中での進級方針により、生徒は年の途中でも進級できますか？

はい。該当地区の年次途中での進級方針で規定されている場合は可能です。各地区は、生徒の上達およびレディネスに基づいた個別化を可能にする年次途中での進級方針を開発するように奨励されています。進級できなかった生徒が地区固有の方針に準じて学年のレベルに応じたリーディング力を身に付け、また該当地区の方針により認められる場合、生徒にはこの機会が与えられる必要があります。生徒がレディネスを示すと同時に生徒を4年生に進級させることは、4年生の教育の恩恵を最大限高めることにつながります。

地区の方針が学年のレベルを満たしているかという個々の生徒のレディネスに基づいている場合、地区は年間を通して調整されたカットスコア（基準点）を適用できますか（カットスコアは年が進むにつれて高くなりますか）？

はい。該当地区の年次途中での進級方針で規定されている場合は可能です。「3年生のリーディング力の保証」は、生徒が4年生に進級する前に、少なくとも3年生のレベルを満たしているかどうかを確認するためのものです。また、3年生に残留している生徒が4年生に進級できるようにサポートする目的もあります。地区ごとの方針により、学年ごとの異なる時点での「学年のレベルに応じたリーディング力」を定義する上で、4年生のカリキュラムやその他の要因の厳格さが検討される場合があります。

年次途中での進級方針の目的において、各地区は残留している生徒が学年に応じたリーディング力を備えているかどうかを判断するために、州により実施されるテスト (STATE TEST) または認可済みの代替りのリーディング力評価方法を使用する必要がありますか？

いいえ、各地区の方針は、進級できなかった生徒が学年のレベルに応じたリーディング力を身に付けたかどうかを評価するための方法を明確にします。オハイオ州教育省は、年次途中での進級方針の目的で、認可済みの評価一覧を維持しているわけではありません。また、各地区は、この目的において認可済みの代替りのリーディング力評価方法を使用する必要はありません。ただし、省としては、州により開発された「Full Measure for Third Grade」もしくは年次途中の進級を判断する承認された診断ツールの一つを含みますがそれに限定されない、有効かつ信頼のおける評価ツールの活用を推奨しています。さらに、残留している3年生が学年に相応しいリーディング力を備えているかどうかを判断する基準として、各地区は他の種類の根拠と標準化されたリーディング力の評価を用いた固有の方針を確立することができます。有効かつ信頼の置ける評価ツールとともに使用できるその他の種類の根拠には以下が含まれますが、それに限定されません。

- サマースクールの期間中に収集された根拠および上達、および/または
- 記録された読みのポートフォリオの一部を含む、生徒のパフォーマンスを記録した、収集された根拠に基づく、担任の教師または学外のサービス提供者からの推薦。

各地区は、生徒がどのように年次途中の進級方針を満たしたかに関する記録を保持しておく必要がありますか？

はい。各地区は、生徒がどのように年次途中の進級方針を満たしたかに関する記録および、他の生徒の記録を保持するのと同じ場所（累積フォルダ）に年次途中の進級の適用日を保持する必要があります。

各地区は、残留している生徒の年次途中での進級をどのようにEMISに報告するのですか？

残留期間中に4年生に進級する残留中の生徒は、学年「04」と年次途中の進級の適用日とともにEMISに報告されます。例えば、残留している生徒が地区の年次途中の進級方針の要件を満たし、2017年11月1日に4年生に進級した場合、この生徒は学年「04」、適用日「2017年11月1日」として報告されます。

生徒の進級後も各地区はサービスの提供を継続する必要がありますか？

州の規定の進級スコアは現在「優良」スコアレベル以下となっているので、地区および学校は ORC 3301.0711(D)(1) に従って、4年生に進級したものの、まだ「優良」のパフォーマンスに達していない生徒に対して、生徒参加型のサービスを提供する必要があります。